

平成30年12月14日(金) 13070号



株式会社 日刊金属

本社 〒530-0043
 大阪市北区天満2丁目12番3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号
 TEL (06) 6353-7831 (代表)
 FAX (06) 6353-7832

東京支社 〒140-0001
 東京都品川区北品川1丁目9番7号
 トップルーム品川1015
 TEL (03) 6869-9983 (代表)
 EMail info@nikkankinzoku.co.jp
 WebPage https://nikkankinzoku.co.jp/

購読料 12ヵ月 72,000円(税別) データ 12ヵ月 84,000円(税別)
 6ヵ月 36,000円(税別) 配信料 6ヵ月 42,000円(税別)

18年度上半期
 パソコン国内出荷実績

個人・法人向け好調続く

出荷台数・金額ともにプラス

(一社) 電子情報技術産業協会 (JEITA) が発表した2018年度上半期のパーソナルコンピュータ国内出荷実績は、出荷台数と金額がともに前年同期比でプラスとなった。法人向けに加え、個人向けも堅調に推移。出荷台数と金額が半期ベースでともに前年実績を上回ったのは、13年下半期以来9期ぶり。

上半期の出荷台数は、前年同月比3.8%増の333万1,000台。うち、ノート型は6.7%増の252万2,000台。主力のA4型・その他は186万6,000万台で0.2%の微減。モバイルノートは31.6%の大幅増でノート型出荷を押し上げた。デスクトップは77万9,000台で、4.9%減少。パソコン単体は7.6%のプラスだったものの、モニターとサーバーが一体となった「オールインワン」が26.2%のマイナスと振るわなかった。

出荷額は3,151億円で、前年同月比6.9%増加。ノート型は10.4%増の2,454億円で、A4型・その他は4.4%増の1,683億円、モバイルノートは26.5%増の771億円だった。デスクトップ型は697億円で4.0%減少。パソコン単体は8.2%のプラスだったものの、オールインワンは15.9%のマイナスだった。

	9月実績		第4四半期		第3四半期		上半期	
	前年比	(4~6月)	前年比	(7~9月)	前年比	(4~9月)	前年比	
出荷台数計(千台)	671	89.9%	1,599	105.6%	1,738	102.1%	3,331	103.8%
デスクトップ	157	85.4%	360	92.9%	420	97.0%	779	95.1%
オールインワン	36	65.7%	94	58.8%	130	90.6%	224	73.8%
単体	121	93.7%	266	116.9%	290	100.2%	556	107.6%
ノート型	514	91.3%	1,239	110.0%	1,318	103.9%	2,552	106.7%
(構成比)	76.7%	-	77.5%	-	75.8%	-	76.6%	-
モバイルノート	131	115.9%	352	146.0%	334	119.1%	686	131.6%
A4型・その他	383	85.2%	886	100.1%	980	99.5%	1,866	99.8%
出荷金額計(億円)	594	92.6%	1,562	108.7%	1,589	105.2%	3,151	106.9%
デスクトップ	128	83.9%	334	94.7%	363	97.3%	697	96.0%
オールインワン	45	69.2%	145	75.4%	162	93.6%	307	84.1%
単体	83	94.7%	189	117.6%	200	100.6%	389	108.2%
ノート型	466	95.3%	1,228	113.2%	1,226	107.8%	2,454	110.4%
モバイルノート	139	113.9%	412	143.2%	358	111.5%	771	126.5%
A4型・その他	327	89.1%	816	102.4%	868	106.4%	1,683	104.4%

パソコン出荷統計に参加しているのは、アップル ジャパン (株)、NEC パーソナルコンピュータ (株)、セイコーエプソン (株)、東芝クライアントソリューション (株)、パナソニック (株)、富士通 (株)、(株) ユニットコム、レノボ・ジャパン (株) の計8社。

	8月実績	前年比	2018年4月からの累計	前年比
出荷台数計(千台)	548	111.6%	2,675	108.6%
デスクトップ	142	109.9%	623	97.9%
オールインワン	61	149.0%	188	75.6%
単体	81	91.8%	435	112.2%
ノート型	406	112.2%	2,053	112.3%
(構成比)	74.1%	-	76.7%	-
モバイルノート	90	118.4%	555	135.9%
A4型・その他	316	110.5%	1,497	105.5%
出荷金額計(億円)	493	113.9%	2,562	111.1%
デスクトップ	123	113.1%	568	99.3%
オールインワン	67	138.5%	262	87.3%
単体	56	92.8%	306	112.6%
ノート型	370	114.1%	1,994	115.0%
モバイルノート	97	109.2%	632	129.7%
A4型・その他	272	116.0%	1,362	109.3%



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本社 大阪市浪速区難波中1-16-8
 電話 06-6649-0045 代表

〒556-0011 工場 大阪市浪速区稻荷 1-11-5
 電話 06-6561-7331~2

水を入れるだけで発電「マグボックス」 復興ビジネスコンテスト

優秀賞受賞

古河電池

古河電池（小野眞一社長）は、非常用マグネシウム空気電池 MgBOX（マグボックス、以下MgBOX）が東日本大震災被災地域の産業復興を応援する「新しい東北」復興ビジネスコンテスト2018において、「優秀賞」を受賞した。

同社の事業所は、東日本大震災で被災しており、電源の必要性を認識。避難所等に設置して、簡単に多数の携帯機器へ電力を供給できる電源を凸版印刷と開発してきた。

MgBOXは、本体に注水するだけで発電し、スマートフォンの充電などUSB機器を簡単・安全に使用できる非常用電源。「非常時の携帯機器の電池切れによる情報の遮断」という課題を解決するべく研究を重ねてきた。使用手順のシンプル化・廃棄の容易性までこだわりました。紙製容器・有害物質未使用とし、地球環境にも配慮したとしている。

「新しい東北」復興ビジネスコンテストは、「新しい東北」官民連携推進協議会が、2014年より開催しているビジネスコンテスト。被災地における地域産業の復興や地域振興に資する事業を応援することを目的としている。



マグボックスシリーズ

低照度でも駆動可能 屋外センサノードを開発

フジクラ

フジクラ（取締役社長：伊藤雅彦）は、低照度環境でも駆動する「エネルギーハーベ

スト（EH）型LoRaWANTM屋内/屋外センサノード」を開発した。センサノードには、モノのインターネット（IoT）無線センシングをより広範囲なエリアへ適用可能にするLPWA（Low Power Wide Area）技術の一つである「LoRaWANTM」方式の無線を搭載した。2019年1月より販売する。

センサノードは、周囲の照度環境から効率よく電力を得られるエネルギーハーベスト・デバイスである「色素増感太陽電池（DSC：Dye-sensitized Solar Cell）」を電源として使用している。DSCは、特に屋内照明や屋外の日陰などの低照度環境で、従来の太陽電池よりも高効率で電力供給が可能のため、屋外の日陰程度の照度でも十分にセンサノードを駆動することが可能。加えて、IoTセンシング端末の電源工事や電池交換などのメンテナンスが不要となるため、ランニングコストも抑えることができるのが売りとしている。センサノードは温度、湿度、照度、気圧、人感、5項目のセンシングを行い、データを標準5分間隔で、定期的に無線で発報する。これらの動作に必要な電力をDSCによる光発電で賄っているのが特徴。



新開発のセンサーノード

日刊金属

6 カ月：36,000 円

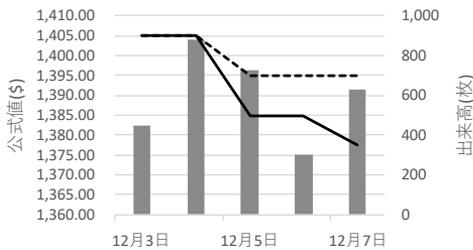
定期購読料

12 カ月：72,000 円

(税別)

LME公式値週間推移 12月3日～12月7日（現地）

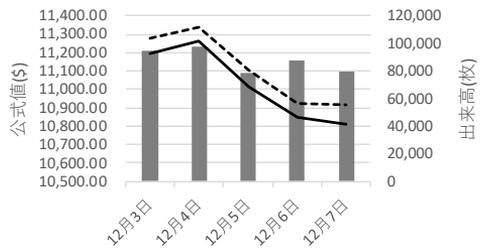
LME北米特殊アルミ合金



	12月3日	12月4日	12月5日	12月6日	12月7日
出来高	446	881	724	300	632
直物	1,405.00	1,405.00	1,385.00	1,385.00	1,377.50
先物	1,405.00	1,405.00	1,395.00	1,395.00	1,395.00

■ 出来高 — 直物 - - - 先物

LMEニッケル



	12月3日	12月4日	12月5日	12月6日	12月7日
出来高	94,368	98,087	78,745	87,662	79,193
直物	11,195.00	11,262.50	11,017.50	10,852.50	10,812.50
先物	11,277.50	11,337.50	11,105.00	10,927.50	10,917.50

■ 出来高 — 直物 - - - 先物

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



11月のアルミ概況および12月の見通し (4)

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比+2%、7万4,105 t、13カ月ぶりプラス。
出荷は+5.8%、7万6,605 t、13カ月ぶりプラス。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比-1.8%、17万7,161 t、10カ月連続マイナス。

【輸出】

アルミ新地金が前年比+50.6%の125 t。二次合金が+119%の2,401 t。スクラップが-19.8の8,833t。

アルミ缶が+28.6%の6,968 t。

【輸入】

アルミ新地金が前年比+55.4%の17万1,067t。二次合金が+2.5%の11万2,311t。スクラップが+389.5%の2,051t。合金スクラップが+7.2%の4,429t。

【見通し】

自動車は生産が-5.3%。国内販売台数が前年比+8.3%。生産は4カ月連続マイナス。ただ販売が大幅に拡大しておりこれが続くかどうか今後に注目。

住宅着工の動向については、前年同月比で0.3%増となった。また、季節調整済年率換算値では95.0万戸(前月比0.8%増)となった。今後プラス傾向が続くのか今後の動向に注目。

アルミ圧延・押出品生産数は板類・押出生産合計は前年比-1.8%、10カ月連続マイナス。板類は10万6,016 t、▲3.9%、10ヶ月連続でマイナス。

押出類7万1,145 t、1.4%の5ヶ月ぶりプラス。今後更にマイナスが続くかの動向に注目。

【アルミニウム2次合金、同合金地金等生産実績】

前年比+2%、7万4105 t、1カ月ぶりプラス。出荷は+5.8%、7万6605 t、1カ月ぶりプラス。

今後更にマイナスが続くかの動向に注目。
アルミ輸出は、好調な生産を受けて増加。
アルミ輸入は好調な内需を背景に増加。

【スクラップ景況予想】

流通在庫は年末の狼狽売りや中国塊の下落を受けてスクラップも連れて下落しており、売り玉があるのでは？需要面に関しては年末休業要から購買意欲は薄いのではないかと？

【LME・為替予想】

今月は米中貿易戦争の動向と朝鮮半島問題に左右される。米中間選挙に関しては先のG20で中国からの輸入品の関税を来年1月に引き上げる制裁措置を一時、(90日)見送ることを発表。

代わりに中国は、貿易の不均衡を是正するため、アメリカから農産物やエネルギー、それに工業製品などを買い入れることで合意するなど中国側に軟化が見られることから90日以内に合意するのではないかと？

朝鮮半島問題に関しては非核化実行なら「金委員長の望みかなえる」と文大統領に伝言しており、金委員長との2回目の首脳会談を来年1月か2月にも開きたいとの意向を示していることからこちらも前進するのではないかと？

これらを踏まえた12月のアルミ価格は、米中貿易戦争でアメリカに有利に進展し、朝鮮半島問題で非核化に向けた動きが出た場合、2,000ドル付近。

両条件が揃わなかった場合現状からもう一段安の1,900ドル付近まで下落するとの予想。

ドル円値は112円~114円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては0~+5円程度と予測している。

【「11月のアルミ概況および12月の見通し」終了】

銅・非鉄金属地金全般

株式会社 オカモト

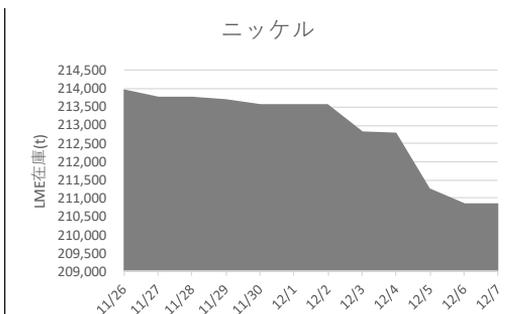
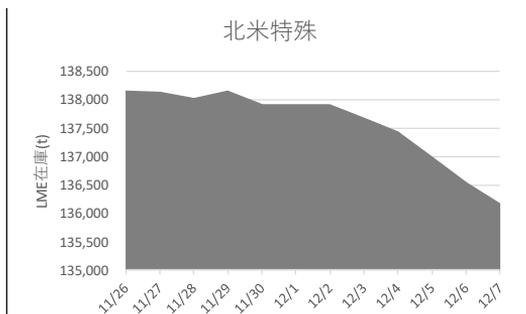
代表取締役 岡本宜三

大阪府堺市美原区黒山 696

☎ 072-361-2264 fax 072-361-2265



LME認定倉庫在庫量推移 11月26日~12月7日(現地)





錫建値は50円引き上げの3,600円 12月の月内建値平均は3,580円

三菱マテリアルは13日、高純度錫地金(99.99%＝フォーナイン)の販売価格を50円引き上げの3,600円にすると発表、同日より適用した。12月の月内建値平均は3,580円。直近6か月の価格推移は次の通り(円/キロ、カッコ内は平均)。

2018年

□7月	3,650(2)3,600(10)	平均3,610
□8月	3,650(1)3,550(17)	平均3,590
□9月	3,550(3)	平均3,550
□10月	3,600(1)	平均3,600
□11月	3,600(1)3,650(16)	平均3,620
□12月	3,550(3)3,600(13)	平均3,580

故銅市況

13日入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場の直物前場売値が、前日の6,163.00ドルより12.00ドル安の6,151.00ドル。この日の直物後場買値は、前日の6,171.50ドルより16.50ドル安の6,155.00ドル。カーブ取引は前日の6,168.00ドル～6,169.00ドルより29.00ドル安の6,139.00ドル～6,140.00ドル。

COMEX(ニューヨーク商品取引所)の銅相場(12月限)は前日の276.60セントよ0.25セント高の276.85セント。SHFE(上海先物取引所)の銅相場(12月限)は、前日の4万9,090元より80元高の4万9,170元。

13日の東京為替市場TTSレートは、前日の114.54円より0.12円の円高ドル安の1ドル＝114.42円。NYカーブLME先物比は1.50ドル高。13日に入電したLME銅相場のセツルメントは6,151.00ドル。この値と13日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の74万5,000円より2,000円安の74万3,000円。この日、電気銅建値は73万円に据え置かれた。

為替動向

12日から13日午前にかけての外国為替市場で、円相場は反発した。

13日の東京外国為替市場、午前9時の気配値は、1ドル＝113.27円～113.30円、前日の17時時点に比べ0.13円の円高・ドル安。

12日のロンドン外国為替市場、現地16時時点は1ドル＝113.20～113.30円、前日の同時刻比0.10円の円高・ドル安だった。

同日のニューヨーク外国為替市場は、前日比0.11円の円高・ドル安、1ドル＝113.22円～113.32円で取引を終了した。

英保守党が首相であるメイ党首の信任投票を実施。メイ首相への信認が過半数を超えたことで安心感が広がり、英ポンドやユーロが対ドルで上昇した。欧州通貨高に連れる形で円も上げ基調となった。一方、欧米株式市場が上昇し、投資家のリスク選好が戻る中で円の上値は限定的だった。ニューヨーク市場のドル円レートのレンジは、113.14円～113.42円だった。

東京市場では、海外市場で欧州通貨が対ドルで上昇した流れを受け、朝方は円買い・ドル売りが先行した。ただ、取引の手掛かりに乏しい中、午前の取引で円相場は113.20円台まで上昇した後、もみ合う展開もみられた。東京株式市場が上昇して始まり、投資家のリスク選好からドルを買い戻す動きも出ているもよう。

故銅直納問屋筋の平均値頃感(単位は千円)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が619～608、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは584～589、並銅は523～528、込銅(高品位＝約97%)は483、セバは535～540。コーベルは要り用筋で466、それ以外は458ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋421、それ以外404～429どころの値頃。並青銅削粉は454～459どころ。

小口市中相場(1トン前後)では、ピカ線が586～591、上銅新くずが573～593、普通上銅が540～550、2号銅線が546～556、並銅が511～512、込銅(90-93%)が470～437、下銅が275～325、セバが502～512、コーベルが458～498、黄銅棒地が454～459、黄銅削粉が362～409、黄銅ラジが399～407、交叉ラジが330～341、黄銅銅削粉が366～373、送りが182～197、上青銅削粉が464～480、並青銅削粉が456～469、上青銅削粉が461～480、並青銅削粉が454～458どころ。

鋳物用銅合金地金

特殊銅合金各種製造
砲金くず・ラジエーターくず等



角丁原料全般買受け

京和ブロンズ株式会社

京都府久世郡久御山町佐山新開地314
電話 0774-43-6700(代表)



LME銅は小反落 LME銅在庫は12万トン割れ、10年ぶりの低水準
カーブ取引も反落 COMEX銅相場は小幅続伸 SHFE銅相場も続伸
LME非鉄相場は総じて軟調 動意弱く値動きは小幅 錫は続伸

13日入電の海外相場は、銅の直物が、LME（ロンドン金属取引所）の公式値ベースで、前日の6,162.75ドルより12.25ドル安の6,150.50ドル。3か月物も、前日の6,155.50ドルより12.00ドル安の6,143.50ドル。LME公認倉庫の銅在庫量は、前日の12万1,000トンより約1,000トン減のおよそ12万トン。COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場（12月限）は、前日の276.60セントより0.25セント高の276.85セント。カーブ取引は、前日の6,168.00ドル～6,169.00ドルより29.00ドル安の6,139.00ドル～6,140.00ドル。SHFE（上海先物取引所）の銅相場（12月限）は、前日の4万9,090元より80元高の4万9,170元。

トランプ米大統領の対中貿易合意に対する前向き発言も市場への影響は限定的だった。大半の投資家は材料視せず静観。LME指定倉庫の在庫は12万トンを割り込み10年ぶりの低水準だが、銅相場は年初来およそ15%安。米中貿易協議の進捗に過剰な期待は持ちにくい状況で、貿易合意が正式に調印されるまで楽観視は難しいとの声。

日刊金属 既刊収録サイト 

<https://nikkankinzoku.co.jp/>

錫は続伸

LME錫相場の直物は、前日の1万9,010.00ドルより165.00ドル高の1万9,175.00ドル。3か月物も、前日の1万8,982.50ドルより230.00ドル高の1万9,212.50ドル。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値
 1トン程度・置場・現金・キロ当たり円

関東地区(12月前半)
 2S=189円～197円、63S=186円～189円、アルミホイール(1P)=183円～188円、ビス付サッシ=137円～141円、エンジンコロ=143円～145円、込合金(機械鋳物)=139円～141円、缶プレス(ソフト)=106円～120円。

関西地区(12月前半)
 2S=184円～192円、63S=182円～186円、52S=194円～198円、印刷版=189円～194円、アルミホイール(1P)=172円～177円、ベースメタル=196円～201円、機械鋳物=143円～148円、ダライ粉=115円～118円、ビス付サッシ=138円～143円、缶プレス=121円～126円。

鉛は続落

LME鉛相場の直物は、前日の1,969.25ドルより4.75ドル安の1,964.50ドル。3か月物も、前日の1,981.75ドルより6.50ドル安の1,975.25ドル。

亜鉛は下落

LME亜鉛相場の直物は、前日の2,674.50ドルより11.00ドル安の2,663.50ドル。3か月物も、前日の2,604.25ドルより14.50ドル安の2,589.75ドル。

アルミも下落 アルミ合金はまちまち 北米特殊アルミ合金は下落

LMEアルミ相場の直物は、前日の1,949.25ドルより21.75ドル安の1,927.50ドル。3か月物も、前日の1,957.25ドルより20.75ドル安の1,936.50ドル。LMEアルミ合金相場の直物は、前日の1,395.00ドルより17.50ドル高の1,412.50ドル。3か月物は、前日の1,410.00ドルより5.00ドル安の1,405.00ドル。LME北米特殊アルミ合金相場の直物は、前日の1,380.00ドルより4.00ドル安の1,376.00ドル。3か月物も、横ばいの1,395.00ドル。LME公認倉庫のアルミニウム在庫量は、前日のおよそ107万2,000トンより約1,000トン減のおよそ107万1,000トン。

ニッケルは反落

LMEニッケル相場の直物は、前日の10,762.50ドルより45.00ドル安の10,717.50ドル。3か月物も、前日の10,862.50ドルより85.00ドル安の10,777.50ドル。

電気亜鉛・蒸留亜鉛販売
亜鉛ドロス・滓買入

大阪亜鉛工業株式会社

取締役社長 **林 昭宏**

本社・工場 〒555-0001 大阪市西淀川区佃 4-14-3
 電話 06-6471-2531～5
 FAX 06-6471-5781

東京営業所 〒131-0043 東京都墨田区立花 2-4-5
 電話 03-3618-2351～2

LME公式値（単位：ドル）／12月12日（現地）

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公式値	6,150.50	19,175.00	1,964.50	2,663.50	1,927.50	1,412.50	1,376.00	10,717.50
	前営業日比	▲ 12.25	165.00	▲ 4.75	▲ 11.00	▲ 21.75	17.50	▲ 4.00	▲ 45.00
先物	公式値	6,143.50	19,212.50	1,975.25	2,589.75	1,936.50	1,405.00	1,395.00	10,777.50
	前営業日比	▲ 12.00	230.00	▲ 6.50	▲ 14.50	▲ 20.75	▲ 5.00	▲ 5.00	▲ 85.00

海外非鉄金属相場

(12月13日 入電・現地 12月12日)

1 ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns: 前買, 場売, 後買, 場売. Rows include: 銅 A G, 錫 H G, 鉛, 亜鉛 S H G, アルミ H G, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル.

NY コメックス相場
出来高: 1 ロットは12.5ショート・トン、銅はポンド当たりセント
金・プラチナ・パラジウムはオンス当たりドル、銀はオンス当たりセント
Table with columns: 銅HG, 金, 銀, プラチナ, パラジウム. Rows: 12月限, 1月限, 2月限, 3月限, 4月限, 前日比, 出来高.

採算価格 フレート諸チャージ込み入荷ベース(上海は前日の元・円レートで換算)

Table with columns: LME (円ベース/キロ), COMEX, 上海. Rows: 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル. Includes values for 銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル and their respective price changes.

フリー・マーケット
■米国生産者価格
銅(セント/ポンド)
銀(セント/オンス)HH社 1477.0

■NY相場
取引業者銅(セント/ポンド) 256.4 ~ 257.4
2号銅線くず(セント/ポンド) 353.35 ~ 357.35

■ロンドン相場(ドル)
金(オンス) 1245.8
アンチモン99.6%(トン) 7900 - 8200
ピスマス99.99%(ポンド) 4.10 - 4.50
カドミウム99.99%(ポンド) 1.20 - 1.30
インジウム99.97%(キロ) 195 - 245
セレンウム99.5%(ポンド) 14.00 - 15.00
スポンジチタン99.5%(キロ) 6.20 - 7.40
フェロモリブデン欧州産(キロ) 29.00 - 29.20
コバルトカソード99.8%(ポンド) 32.50 - 33.50
マグネシウム中国産99.9%(トン) 2600 - 2675
タングステンAPT(MTU単位) 275 - 285
タンタル鉱石30-35%(ポンド) 85 - 90

■K L T M 錫 (Mドル/キロ、出来高トン)
(12日) (13日)
相場 79.47 80.31
出来高 58 62
ドル建て価格 19000 19200
O Dレート 3.7600 3.7600
M \$ / U S \$ レート 4.1826 4.1826
採算円/キロ 2426 2449
U S \$ 採算円/キロ 2181 2201

L M E 在庫 (トン)
在庫 増減
銅 119,900 ▲ 1,400
錫 2,910 0
鉛 107,075 2,925
亜鉛 115,100 1,925
アルミ 1,071,425 ▲ 1,025
アルミ合金 12,060 0
北米特殊 A L 合金 135,340 ▲ 240
ニッケル 211,110 852

コメックス銅在庫(トン) 122,147 ▲ 1,493

上海在庫(トン)
銅 123,879 ▲ 7,163
(12/7 現在) アルミ 713,267 ▲ 17,863
亜鉛 26,850 71
鉛 9,620 1,444

NYカーブ
銅 6149.00 ~ 6150.00 4.00
アルミ 1935.00 ~ 1936.00 0.00

上海相場 トン当たり元、1ロット=5トン・増値税込
銅 アルミ 亜鉛 鉛
12月限 49170 13540 21565 18955
1月限 49220 13615 21365 18505
前日比 80 ▲ 45 95 55
出来高 17600 13650 4760 2400

非鉄金属製品相場

(12月13日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京
銅小板2.0ミリ	960	990	亜鉛板0.3×3×7	620	620
建築用0.3ミリ	970	1000	印刷用亜鉛板トッパン用	800	800
銅大板2×1×2	1130	1190	給水管13ミリ	310	310
銅管(ベース)	1160	1170	鉛板1.5ミリ	340	340
水道用管(m当たり)13ミリ	830	870	鉛線3ミリ	465	475
銅棒25ミリ	930	980	軽圧品(仲値)	大阪	東京
銅条1.5×100	940	980	アルミ箔0.007ミリ	945	935
銅線0.9ミリ	1020	1040	〃 小板1ミリ	520	510
銅帯6×50	940	980	〃 大板1ミリ	510	500
銅平角線	1220	1230	〃 5052板	650	550
黄銅小板2.0ミリ	800	815	〃 5083板	665	565
〃 0.3ミリ	825	835	〃 2017板	1035	925
黄銅大板2×1×2	980	1025	〃 線3ミリ	645	560
黄銅管	1355	1305	〃 快削棒25ミリ	785	780
復水器用黄銅管	1325	1345	〃 合金棒25ミリ(17S)	790	760
黄銅棒快削25ミリ	660	670	〃 合金棒25ミリ(56S)	770	720
六角棒	690	700			
四角棒	720	730	貴金属(一般小口向け)		
鍛造用	700	710	白金(グラム)	◎ 3274	
ネーバル	800	810	パラジウム(グラム)	◎ 5043	
高力	800	810	金(グラム)	◎ 4942	
黄銅線6ミリ	1040	1080	銀(キログラム)	◎ 61020	
黄銅平角線ロール仕上	1240	1295			
黄銅条1.5×100	795	835	レアメタル輸入価格	10月通関 (CIF)	
リン青銅板一般用1.0ミリ	1860	1840	金属ケイ素(99.99%未満)	232	
〃 パネ用0.3ミリ	2080	2050	モリブデン酸化物	2231	
リン青銅棒25ミリ	2130	2140	タンタル	28008	
リン青銅線3ミリ	2280	2260	マグネシウム	297	
洋白板一般用1.0ミリ	2650	2630	コバルト	8991	
〃 パネ用1.0ミリ	2840	2820	インジウム	27203	

合金鉄	10月輸入単価 (CIF)
フェロマンガ2%以上炭素含有	137
〃 その他	162.8
フェロシリコン55%以上	163
フェロクロム4%以上炭素含有	160.8
フェロモリブデン純分60%以上	2123
フェロバナジウム	7535
フェロニッケル33%未満	422.3
電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ	326

減摩合金 (500kg以上、大口価格)	12月1日改定		銅合金地金 (標準価格)	12月1日発表	
	大阪	東京		大阪	東京
1種	2685		BC 1種	800	—
2種	2620		2種	980	—
3種	2545		3種	1025	—
4種	2245		6種	860	—
5種	2170		7種	895	—
7種	885		YBSC 3種	710	—
8種	800		LBC 3種	990	—
9種	715		PBC 2種	1045	—

